2025年度　町田市立鶴川第二中学校　学校経営計画・学校評価報告書（自己評価・学校関係者評価）

令和6年3月31日

学校教育目標	学校経営の重点
○自ら学び、創造性のある生徒　　○豊かな心をもち、思いやりのある生徒　　○心身ともに健康で、忍耐力のある生徒 ○目指す学校像・・・・・・・・生徒の夢を叶え、夢中になれる学校 ○目指す児童・生徒像・・・高い人権感覚をもち、自他を尊重し、お互いを思いやり協力し合う生徒 ○目指す教師像・・・・・・・高い人権感覚をもち、生徒理解に努め、生徒一人一人を大切にし粘り強く学習指導や生活指導を実践する教師	○主体的・対話的で深い学びの実現～学び続ける力の育成 ○生徒理解に基づく指導の徹底～高い人権感覚、いじめ等問題行動への適切な対応、豊かな心情の醸成 重点目標の成果と課題 生徒理解週間の実施など、生徒理解を深めるための取組の充実が図れたとともに、教育活動全般において主体的な活動を推進するための指導の工夫を行ったことで、生徒の自己肯定感及び自己有用感が向上したことが成果である。さらに、豊かな心情の醸成を図るために、生徒理解に力を入れ、組織的に指導や支援にあたることが課題である。

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○%	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価記入欄	評価
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	学校教育を通してより良い社会を創るという理念を地域と共有する。	地域行事への生徒の派遣回数を増加させ、地域の一員としての自覚を育む。	4　年間8回以上の行事への参加 3　年間6回以上の行事への参加 2　年間4回以上の行事への参加 1　年間4回未満の行事への参加	1.78	D	学校評価アンケート「地域連携」肯定的評価80%以上 学校評価アンケート「地域連携」肯定的評価70%以上 学校評価アンケート「地域連携」肯定的評価60%以上 学校評価アンケート「地域連携」肯定的評価60%未満	72	B	・生徒の地域派遣については、年8回実施できているが、保護者が認知していないため評価が低いものとなっており、数値と一致していない。・教育活動に外部人材を活用したが、目標値に到達しなかった。保護者からの肯定的評価は78%である。年度により、学年の意向が変化し、活用内容に状況が変わる。・HPや各種たよりは、タイムリーに発行・発信が実現できた。tetoru6効果的に活用した。情報発信に関しては、保護者から肯定的評価90%をえることができた。・教育活動の公開に対する肯定的評価は94%であった。学校公開の機会の回数を増やしたことも好結果の要因だととらえる。	・教育活動の理解促進に欠かすことができない学校行事や授業公開等については、実施時期だけではなく、周知のタイミング・内容などを検討し、引き続き効果的なものとなるようにする。・外部人材の活用については、実施回数だけではなく、活用の内容・方法などを検討し、教育の質向上を踏まえて推進していく。そのための情報を学校運営協議会などから得ていく。・地域とともに育てていくという考えと、地域貢献の観点から、生徒を地域行事に積極的に派遣する。そのための情報収集を学校運営協議会と連携して進める。また、新たな学校発信の活動などを企画していきたいとも考えている。	・生徒の地域派遣については、地域・保護の評価が浸透していない印象があるが、引き続きの情報発信を期待する。・中学生の地域活動参加については、自治会等と連携方法を考えていく必要がある。・地域イベントをHPや学校便り等に広報し、学校と地域とのつながりをイベントに結びつければと思う。・地域行事に参加した生徒が、自ら考えて行動する姿が見られた。・HPがタイムリーにUPされ、子供たちの様子が良くわかる。	B
		積極的な情報発信と公開により、教育活動の共有を図るとともに、理解を深める。	HP・各種便りなどの内容充実と、タイムリーな発行・更新を行い、保護者から安心してもらえるように情報を発信する。	4　週4回以上の更新 3　週3回以上の更新 2　週2回以上の更新 1　週1回の更新	3.9	A	学校評価アンケート「情報発信」肯定的評価90%以上 学校評価アンケート「情報発信」肯定的評価80%以上 学校評価アンケート「情報発信」肯定的評価70%以上 学校評価アンケート「情報発信」肯定的評価70%未満	90	A				
			教育活動に対する理解促進とともに、子どもたちを健やかに育てていくことに向け、地域と保護者に教育活動を積極的に公開する。	4　90%以上の学級で意識して公開 3　80%以上の学級で意識して公開 2　70%以上の学級で意識して公開 1　意識して公開した学級が70%未満	3.25	B	学校評価アンケート「教育活動の公開」肯定的評価90%以上 学校評価アンケート「教育活動の公開」肯定的評価80%以上 学校評価アンケート「教育活動の公開」肯定的評価70%以上 学校評価アンケート「教育活動の公開」肯定的評価70%未満	94	A				
確かな学力の育成	**子どもが主体的に学び、教師が導く**授業改善**改革**を進め、**主体的・対話的で深い学びを実現することで、**基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等**とともに学び続ける力**の育成を**図る。**	主体的に学びに向かう態度を育成する。 ・～主体的・対話的で深い学びを実現し、学び続ける力の育成を図る。 ・思考力・判断力・表現力の伸長を図る。	「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体化による授業実践において、主体的・対話的で深い学びを実現し、学び続ける力の育成を図る。	4　指導場面における80%以上で実施 3　指導場面における70%以上で実施 2　指導場面における60%以上で実施 1　指導場面における60%未満で実施	2.39	C	生徒授業評価　肯定的評価90%以上 生徒授業評価　肯定的評価80%以上 生徒授業評価　肯定的評価70%以上 生徒授業評価　肯定的評価70%未満	70	B	・「学び続ける力の育成」に関する授業改革は、まだ途上にあるととらえる。今後も、校内研修や教科部会を中心とした研究・研修がさらに必要である。・課題発見・探究・表現の活動を積極的に取り入れ、主体的に学びに向かう態度の育成は順調に進んでいる。生徒の授業評価から70%の肯定的評価が得られた。・ICT及び学習ソフトの活用は、教員による個人差はあるものの効果的活用が進んでいる。さらに、情報共有とICT支援員の活用により進める。・授業改革に関しては、「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体化と「学び続ける力の育成」について、各教科ともに確実に行われている。	・「学び続ける力の育成」に関する授業改革は、今年度のものを踏まえて、来年度も教科部会を機能させて推進していく。そのために、研究授業の回数や、指導に関する情報共有の機会を増やしていく。・主体的に学びに向かうことにより、知識や技能が身についたことを生徒に実感させるために、振り返りシートなどの工夫改善に努めさせる。・ICTの効果的な活用とあわせて、学習ソフトの積極的活用に力を入れさせる。そのために、情報推進委員会と進路学習部の共同による取組や発信を促す。・授業改革の進行状況を自己申告の面接時や授業観察時に把握し、教員に返していく。	・受身授業でなくグループ毎に自主的に発言し合える授業を参観し、子供の積極性が良かった。個の時代においてコミュニケーションを重視し、教員と一体となって子供たちの自主性を育てていけるとよい。・ICT活用は実践が向上しており、取り組みを高く評価する。・主体的に家庭学習に取り組むために保護者が成し得る役割を具体的に発信するとよい。・Wi-Fiを使用した授業では遅延が発生している状況である。市の早急な対応を求める。	A
		授業改善を進め、わかる授業を実現する。 ～確かな学力の習得	ICT及び学習ソフトの効果的活用を促進し、生徒の主体的学習態度を育み、基礎基本定着を目指す。	4　90%以上の授業で意識して指導 3　80%以上の授業で意識して指導 2　70%以上の授業で意識して指導 1　70%未満の授業で意識して指導	2.59	C	生徒授業評価　肯定的評価90%以上 生徒授業評価　肯定的評価80%以上 生徒授業評価　肯定的評価70%以上 生徒授業評価　肯定的評価70%未満	73	B				
			授業改革を進め、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる。	4　90%以上の授業で意識して指導 3　80%以上の授業で意識して指導 2　70%以上の授業で意識して指導 1　70%未満の授業で意識して指導	3.26	B	生徒授業評価　肯定的評価90%以上 生徒授業評価　肯定的評価80%以上 生徒授業評価　肯定的評価70%以上 生徒授業評価　肯定的評価70%未満	89	A				
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・意欲・態度を育てる。	一人一人の個性を重視した生徒指導を実践し、それぞれの目標に子供を導く。	いじめ撲滅に向けた指導の徹底と、未然防止・早期発見・早期対応を実現する。個々の案件に迅速かつ適切に対応する。	4　全ての活動・場面において意識して指導 3　90%以上の活動・場面で意識して指導 2　80%以上の指導・場面で意識して指導 1　80%未満の活動・場面で意識して指導	3.53	A	学校評価アンケート「人権教育・生徒理解」等肯定的評価90%以上 学校評価アンケート「人権教育・生徒理解」等肯定的評価80%以上 学校評価アンケート「人権教育・生徒理解」等肯定的評価70%以上 学校評価アンケート「人権教育・生徒理解」等肯定的評価70%未満	77	B	・いじめ撲滅に向けた指導の徹底と未然防止・早期発見・早期対応の実現に関しては、迅速かつ適切な対応について、77%の肯定的評価を保護者から得ることができたが、さらに未然防止に努めるための指導の工夫を行う必要がある。一方、保護者との連携については、90%の肯定的評価を得ることができた。・学校経営方針の柱である自己肯定感の向上については、生徒自身が実感していることが93%の肯定的評価という結果からうかがえた。・道徳的実践力を高めるための授業改善は、道徳授業の90%以上の授業で実践されており、生徒の生活態度などにあらわれている。	・いじめの未然防止や早期発見と対応については、教員への研修を事例を用いて行い続けていくことで実現できると考える。肯定的評価も向上すると考える。来年度も即役立つ研修を企画する。・保護者対応は、難しい内容のものも多々あるが、初動の重要性を研修や情報共有を通して学ばせていく。・生徒の自己肯定感をいかに高めていくかを念頭において、行事などの活動について企画運営を図っていく。振り返りの重要性を踏まえ、振り返りの実施方法及び内容を考えさせる。・道徳授業の改善や工夫について、中心となる分掌や教員に情報発信に努めさせ、道徳的実践力の向上を図る。	・いじめに関し、生徒から見た教員の対応や姿勢が高い評価だったのは安心である。思い家化の予兆把握は難しいが、保護者との連携がプラスになればと思う。・保護者との連携が昨年度より高い。今後も保護者と一体となり、いじめに対応してほしい。・教室に入れずとも、教員と連携がとれている点は評価する。・引き続き、計画的で具体的な道徳教育に取り組み、且つ、生徒が主体的に問題を理解する授業展開を評価する。	A
		規範意識を高め、他者と協働する姿勢の伸長を図る。	主体的に活動に取り組むことにより、他者との協力姿勢を伸長させるとともに、自己肯定感や自己有用感を高める。	4　90%以上の活動・場面で意識して指導 3　80%以上の指導・場面で意識して指導 2　70%以上の活動・場面で意識して指導 1　70%未満の活動・場面で意識して指導	3.2	B	生徒の自己評価による満足度評価90%以上 生徒の自己評価による満足度評価80%以上 生徒の自己評価による満足度評価70%以上 生徒の自己評価による満足度評価70%未満	93	A				
			「考え議論する道徳」授業の充実を図るとともに、道徳的実践力を高めるための指導の工夫を行う。	4　90%以上の授業で意識して指導 3　80%以上の授業で意識して指導 2　70%以上の授業で意識して指導 1　70%未満の授業で意識して指導	3	B	教員アンケート「道徳教育」肯定的評価評価90%以上 教員アンケート「道徳教育」肯定的評価評価80%以上 教員アンケート「道徳教育」肯定的評価評価70%以上 教員アンケート「道徳教育」肯定的評価評価70%未満	95	A				
健やかな心体の育成	正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実する.	心身ともに健康で活力に満ちた生徒を育成する。	特別支援委員会を中心に校内・校外組織との連携を充実させ、個々の状況に応じた支援を適切に進める。	4　全ての活動・場面において意識して指導 3　90%以上の活動・場面で意識して指導 2　80%以上の指導・場面で意識して指導 1　80%未満の活動・場面で意識して指導	3.05	B	保護者アンケートにおいて肯定的評価90%以上 保護者アンケートにおいて肯定的評価80%以上 保護者アンケートにおいて肯定的評価70%以上 保護者アンケートにおいて肯定的評価70%未満	77	B	・特別支援委員会を中心とした、個々への支援状況をすべての保護者がとらえていない現状がある。校内の相談体制を周知するなど、支援状況を工夫して伝えていく必要がある。・健康管理に関する意識啓発に関する内容を保健だよりや保護者会で伝えるように努めた結果、91%の肯定的評価を得た。・今年度は安全指導や避難訓練の実施について、知識を身に着け実践力を向上することを重点に行った。その効果は評価に現れたとおり、実感できるものであった。・危機管理体制の確認と見直しは、避難訓練の内容改善に代表されるように適切に行われた。	・特別支援委員会を中心とした、個々への支援体制をさらに周知することと、支援の状況を工夫して伝えることを積極的に行う。・合理的配慮に関する教員の意識を深めていくための研修や情報提供に努めていく。・健康管理に関する保護者の意識啓発に、来年度も工夫を重ねていく。・自助・共助・公助に関する知識と実践力の向上を図るために、より実践に役立てることができる防災教育に力をいれていく。・来年度も危機管理体制（健康・安全・問題行動等）の見直しを適切に進める。	・特別支援教育は生徒個々に応じたきめ細やかな支援を行うため、学校・家庭・専門機関が連携して取り組むことが求められる。引き続きの指導をお願いしたい。・柔診動告への受診率向上が課題であったが、啓発に努めたことを評価する。さらなる対応も検討してほしい。・避難訓練は、地域と一体化できれば、大人の防災意識にふれ、共助の大切さを体験できる良い機会となると考える。	A
			心身ともに健康で活力に満ちた生徒を育成する。	保健指導と食育指導の充実を目指し、健康管理に関する意識啓発を行う。受診動告への対応率の向上を目指す。	4　90%以上の活動・場面で意識して指導 3　80%以上の指導・場面で意識して指導 2　70%以上の活動・場面で意識して指導 1　70%未満の活動・場面で意識して指導	3.16	B	教員の自己評価肯定的評価90%以上 教員の自己評価肯定的評価80%以上 教員の自己評価肯定的評価70%以上 教員の自己評価肯定的評価70%未満	91	A				
		危機的状況に対する理解と対応、適切な援助希求活動の実現を目指す。	自助・共助・公助に関する知識や実践力を養うことに重点を置いた安全指導や避難訓練を実施する。	4　年間指導計画に設定した安全指導・避難訓練の90%以上で実施 3　年間指導計画に設定した安全指導・避難訓練の80%以上で実施 2　年間指導計画に設定した安全指導・避難訓練の70%以上で実施 1　年間指導計画に設定した安全指導・避難訓練の70%未満で実施	3.5	A	教員の自己評価肯定的評価90%以上 教員の自己評価肯定的評価80%以上 教員の自己評価肯定的評価70%以上 教員の自己評価肯定的評価70%未満	94	A				
			危機管理体制（健康・安全・問題行動等）の確認や見直しを行う。	4　学期に2回以上実施 3　学期に1回実施 2　年間に2回実施 1　年間に1回実施	3.25	B	教員の自己評価肯定的評価90%以上 教員の自己評価肯定的評価80%以上 教員の自己評価肯定的評価70%以上 教員の自己評価肯定的評価70%未満	94	A				
その他	「歌響く鶴川二中」の実現	歌唱の場面で歌声による自己表現を行わせる。	歌唱の場面では、感情を表現するとともに、自信をもって堂々と歌い上げる指導を行う。	4　全ての活動において意識して指導 3　90%以上の活動において意識して指導 2　80%以上の活動において意識して指導 1　80%未満の活動において意識して指導	3.07	B	生徒の自己評価肯定的評価90%以上 生徒の自己評価肯定的評価80%以上 生徒の自己評価肯定的評価70%以上 生徒の自己評価肯定的評価70%未満	89	A	・概ね目標を達成できたと考える。生徒も歌うことに対して自信を高めることが評価から捉えることができた。	・生徒が自己表現することができる場面のひとつとして、全教員が共通認識を年度当初からも指導を進めることが必要である。	・二中の誇りとプライドが身についていて、真剣に取り組む姿が素晴らしい。	A

取組指標の評価基準（結果数値からABCD評価へ）

取組指標平均	3．5以上	⇒　評価A
取組指標平均	3以上3．5未満	⇒　評価B
取組指標平均	2以上3未満	⇒　評価C
取組指標平均	2未満	⇒　評価D

※　学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。

成果指標評価基準

成果指標平均	80%以上	⇒評価A
成果指標平均	70%以上	⇒評価B
成果指標平均	55%以上	⇒評価C
成果指標平均	55%未満	⇒評価D

学校関係者評価の評価基準例

A⇒　取組・成果ともに十分評価できる
B⇒　取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい
C⇒　目標達成には至らないため、次年度の改善が必要
D⇒　重要な課題であるため、次年度、重点的に改善

※　学校からの十分な説明をもとに、学校運営協議会で成果と課題、改善点について協議する。